

平成30年8月29日

保護者の皆様

島根県立出雲工業高等学校
校長 吾郷 信博

文化的学校行事（地球のステージ1）について（ご案内）

秋涼の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の教育活動に対しまして格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の文化的学校行事として、下記のとおり「地球のステージ1」を開催いたします。この公演会は保護者の方どなたでも参加できます。ご多忙のこととは存じますが、気軽にお出かけいただき、生徒たちとともに鑑賞していただきたく、ご案内申し上げます。

つきましては、下記の参加確認書を参加される保護者の方のみ、9月20日（木）までに担任へご提出ください。

記

- 1 日 時 9月27日(木) 12:50～13:00 受付
13:00～14:50 『地球のステージ1』
14:50～15:10 質問タイム
15:10～15:20 お礼、見送り
- 2 会 場 本校 体育館
- 3 公 演 『地球のステージ1』
- 4 公 演 者 桑山 紀彦 氏 NPO法人地球のステージ代表理事 医師（心療内科）
- 5 内 容 『地球のステージ1』（ライブ音楽と映像・語り）
 - ・放浪篇 ・南米篇 ・フィリピン篇 ・パレスチナ篇
 - ・震災篇 ・故郷篇 ・エンディング
- 6 注意事項
 - ・公演中のビデオ・カメラ等による撮影はご遠慮ください。
 - ・後方の座席にて鑑賞していただきますようお願いいたします。（当日受付にてご案内いたします。）
 - ・ファクシミリで提出されても構いません。切り取らずに送信してください。（Fax：0853-21-7543）

----- 切り取り -----

H30. 文化的学校行事 参加確認書

（ ）科（ ）年 保護者氏名（ ）

文化的学校行事に参加します。

50以上の世界の国々を訪れた。
ゴミの山の風景の中に、
銃撃の中に、土埃の中に、
ピカピカの笑顔がありました。

工 雲 祭 文化的学校行事

地球のステージ

www.e-stageone.org

地球のステージとは

1996年1月に始まった「紛争、災害、貧困の地の子どもたちに音楽と映像で近づこう」というコンサートステージです。年間200回ほどの公演を全国各地で行っています。世界の紛争、災害の地で現役医師が出会った人々の輝き、明るくたくましく生きる姿を、オリジナルの音楽と大画面の映像、語りを交え、観た人がそれぞれに受け止め、感動できる内容になっています。事務局のある宮城県名取市は東日本大震災により大きな被害を受けました。震災を風化させないように、ここで奮闘する人々の姿も伝え続けています。

企画・出演

桑山 紀彦 (作詩・作曲、映像制作、ボーカル、
ギター、ヴァイオリン)

プロフィール：

精神科医、心療内科医、医学博士。

NPO法人地球のステージ代表理事。

日本で医師として診療を行う一方、パレスチナ、東ティモール、地震等の被災地での国際医療支援活動、「地球のステージ」公演など幅広く活動中。東日本大震災では自ら被災しながらも直後から診療を再開、被災した人々の心のケアを行う。現在は神奈川県海老名市に「海老名こころのクリニック」を開設、日々の診療にあたる。



とき 9月27日(木)
13:00~15:20
場所 本校体育館

島根県立出雲工業高等学校

演目の内容（多少変更される可能性があります）

地球のステージ 1

放浪の旅を経て、海外支援活動へと導く少女との出会いがありました。その出会いから始まる新たな道。ステージで語られる人々の生きる姿から、大切なものに気づかされます

1. オープニング&放浪篇～「アメージング・グレイス」



世界五大大陸の山々と美しい自然の姿を映像に綴りました。

2.南米篇～「地球の詩」

初めて訪れたインドの地。そこから始まる放浪の旅。動画で登場するオーロラ、夜空を彩る満天の天の川が南米ウユニ塩湖の湖面に沈んでいく動画も登場します。

そして、たどり着いた南米で心に残ったものとは……

3.フィリピン篇～「還ろう」

観光気分で出かけたフィリピンでの忘れられない少女との出会い。「本当の豊かさとは？」スラムの中の笑顔が問いかけます。

4.B.パレスチナ（ガザ 50 日戦争篇）～「落日の果て」～（他の演目に変更する可能性があります）

空爆の続くパレスチナ自治区ガザ。そこで生きる子どもたちのたくましさを伝えます。そして私たち日本人が日々の生活の中でできる「平和への取り組み」とは？

5.東日本大震災篇～ここに東日本大震災に関する最新の”篇”が入ります

東日本大震災での「心のケア」の活動、復興へ向けて立ち上がる人々の姿を、各シリーズの中でお話ししています。「震災篇」「8年目の津波篇」の中から、今回は「8年目の津波編」をお話し、震災を忘れないことといのちの大切さを考える機会にしています。

6.故郷篇～「ねがい」

足元をどう生きるか。この日本が私たちの故郷です。

7.エンディング～「故郷を想ふ」

メッセージが流れます。